

英国防相、核兵器解体の検証技術会議を提案

イギリスのブラウン国防相は、2月5日、ジュネーブ軍縮会議における演説のなかで、「核兵器なき世界という共通のビジョン」の実現に向けて、とくに検証技術を検討する国連安保理常任理事国の核兵器研究所会議を開催することを提案した。

この「技術会議」は2010年核不拡散条約（NPT）再検討会議の準備活動の一環として構想されており、常任理事国5カ国——いわゆるP5であり、また核兵器国であることからN5とも呼ばれる——の核兵器研究専門家の会合となる。

以下、イギリス労働党のホームページに掲載されたブラウン国防相演説全文のうちから、冒頭の挨拶、検証計画提案の背景説明、および最後の部分の具体的な提案内容を抄訳で紹介する。

* * *

私は軍縮会議において一国の国防大臣が演説するのは稀であることを承知している。だからこそ、私は本日、ここに出席したかったのである。イギリスが核軍備縮小撤廃の約束に与えている高い優先順位に関して強力なメッセージを伝えるため、国防大臣がこの軍縮会議で演説するという事実をまず強調したい。

国際社会は多国間の核軍備縮小撤廃のための透明な、持続可能な、信頼できる計画を必要としている。それは、核軍備の縮小撤廃と拡散対抗の双方をともに前進させるものでなければならない。われわれの目標は、一方が他方を強化しあう、好循環であるべきである。

もし非核兵器国が核兵器国による多国間核軍備縮小撤廃にむけての計画、約束、行動を見通すことができるならば、われわれが核兵器を廃絶できるチャンスは大いに強められるであろう。それなくしては、われわれは、核兵器国が核軍備縮小撤廃義務の履行を怠っているとの認識を生み出し、それが非核兵器国の間において非協力的な行動をする口実に利用される、などのリスクを冒すことになる。